

住宅防火について ～いのちを守る10のポイント～

住宅火災は、総火災件数の3割ほどなのに対して、死者数は総死者数の約7割と非常に多くの方が亡くなっています。死者が発生した住宅火災の原因は、「たばこ」、「ストーブ」、「こんろ」です。これらの火災を起こさないために「4つの習慣・6つの対策」を心がけましょう。また、住宅用火災警報器は火災を早期に発見する非常に有効なものですので設置しましょう。設置した住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換を検討して下さい。

住宅防火 いのちを守る10のポイント

4つの習慣

- 1 寝たばとは絶対にしない、させない
- 2 ストーブの周りに紙や可燃物を置かない
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

6つの対策

- 1 火災の発生を防ぐために、ストーブ・こんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 2 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 3 火災の拡大を防ぐために、避難を準備せよ。寝具、衣類及びカーテンは、防炎剤を使用する
- 4 火災をいざという時に消すために、消火器を設置し、使い方を確認しておく
- 5 万が一やけどや身の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

FDMA 消防庁
Fire and Disaster Management Agency
https://www.fdma.go.jp/

総務省消防庁 HP (住宅防火)



富良野消防署出初式

とき 令和7年1月7日(火)

ところ 富良野市複合庁舎

南側玄関前

内容 10:00観閲式

10:20式典

サイレン吹鳴 8:10山部

8:20東山 8:30布部

8:50麓郷 9:30富良野市街

お問い合わせ



年末年始の火災予防について

年末年始を迎えるにあたり、暖房機器や調理器具など火気を使用する機会が増えることから、火災の発生が増加する恐れがあります。また、年末年始は休日が多いため、外出などで家を空けたり、事業所も無人になりがちとなったりしますので、お出かけ前や就寝前など、いまいちど火の元を確認し、火災のない年末年始をすごしましょう。

〈ご家庭の防火対策〉

- ①外出する前や寝る前には必ず火の元を確認しましょう。
- ②暖房機器は定期的に点検を行い調子が悪い器具は専門業者に見てもらいましょう。
- ③家の周囲は整理整頓し放火させない環境を作りましょう。
- ④子供の火遊びに注意しましょう。

〈不特定多数の者が出入りする建物の安全確保〉

①この時期は店舗、ホテル、飲食店などへ出入りする機会が多くなります。不特定多数の人が多く出入りする場所は、ひとたび火災が発生すると大きな被害も予想されます。消防設備の設置、点検、避難施設の管理等を徹底し安全確保を図りましょう。

- ②年末年始が休日になる事業所では定期的に巡視を行いましょう。

問い合わせ先 富良野消防署 指導係(広報担当) 23-5119

以下は除外(再掲載の可能性あり)

消火器の使い方について

もしも火災に遭遇した時、炎が小さいうちは消火器による初期消火が大変有効です。いざという時に使用できるよう使い方を覚えておきましょう。

消火器は次の3つの手順で使用できます。

- ①ピン(安全ピンを抜く)
- ②ホース(ホースの先端をしっかり持つ)
- ③レバー(レバーを強く握る)



総務省消防庁では消火器の使い方を動画公開しています。

(右記 QR コード:総務省消防庁リンク先)